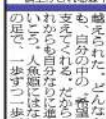

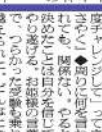

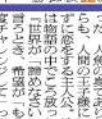

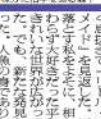

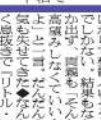

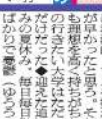

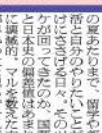

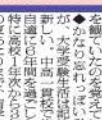

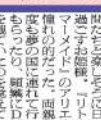

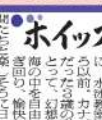

㊮うどん丸香

1981年以来全日本大学選手権 38年ぶり6度目

明大スポーツ

7月10日　水曜日
令和元年（2019年）
第497号

明大スポーツ新聞
創刊　1953年
編集人　古賀　章太郎
東京都千代田区神田駿河台1の1
〒101-8301 TEL/FAX 03(3233)3760
http://meisupo.net/

◆決勝　佛教大戦（神宮球場）

明　大	003	000	003	6
佛教大	000	000	001	1

優勝回数 歴代2位タイ

日本一

明スポ

森下2冠

2完投　防0.50

MVP＆最優秀投手!!

最高殊勲選手賞

待ちわびた光景だ！　全国から27大学が集い日本一を決する全日本大学選手権に、明大は東京六大学を代表して出場。決勝で佛教大を6－1で下し、38年ぶり6度目の優勝を果たした。「やっと歴史がつながった」と、春の日本一は善波達也監督の大学1年次以来の快挙。最高殊勲選手賞には、森下暢仁主将（政経4＝大分商）が選出された。

◆過去の決勝戦績◆

年度	対戦校	スコア
1954	立命大	7－1
1955	日大	1－0
1978	専大	5－0
1980	駒大	8－1
1981	近大	8－2
2019	佛教大	6－1

猛進

9回裏2死二塁、森下が投じた146㌔の直球にバットが空を切る。その瞬間、神宮球場は勝利の歓声に包まれた。選手たちも、応援し続けたファンたちも、38年ぶりの待ちに待った春の日本一。マウンドでナンバーワンのポーズとともに咲いた笑顔。世代を超え、託された夢を成し遂げた選手たちは達成感に満ちていた。

最上級生の活躍なしでは語れない。北本一樹内野手（文4＝二松学舎大付）は5割を超える打率で打線をけん引した。3回戦では強豪・東洋大相手に森下が完封勝利。準決勝は伊勢大夢投手（営4＝九州学院）が好リリーフを見せ、喜多真吾内野手（法4＝広陵）がダメ押しの本塁打を放った。迎えた佛教大との決勝。「みんながつないでくれた」。先発した森下は気迫あふれる投球で9回10奪三振1失点の完投。試合後の優勝インタビューでは「このメンバーと野球をやれて本当に良かった」。主将はすがすがしい表情で仲間への思いを語った。

一丸

昨秋、どん底から新チームが始動した。下級生の頃から活躍していた一つ上の先輩。その4年生主体のチームがリーグ戦4位。また、北本の代は規定打席に1人しか到達していなかった。さらにリーグ戦期間中、ベンチ外の選手が応援に来ていないことが発覚。「先輩ができなかった優勝を自分たちが……」（北本）。迎えた春季リーグ開幕戦、オーダーには新4年生が並んだ。「自分たちが活躍しないと勝てない」（喜多）。不安で動きは硬くなった。

そんな選手たちに勇気を与えたのがベンチを外れた4年生だった。始動時に繰り返した学年ミーティング。全員の心にあった"チームが勝つには"。この思いで自ら裏方を買って出た。普段はチームを離れて、就活に専念する人が大半。そんな中「自分たちのできることをやっていこう」（蓮見昌吾寮長・営4＝明大中野八王子）。5時半に始まる朝練では、率先してサポート。私生活の面でも模範となった。

試合当日には早朝から100個のおにぎりを握った。選手が手に取ると、愛情がこもった背番号付き。「本気で応援してくれている。勝たなきゃいけない」（北本）。"必勝おにぎり"は士気を上げ、背中を押した。それに応えるようにガッツポーズは決まってスタンドの方へ。拳の先にはネットを握りながら喜ぶワイシャツ姿の4年生。「本当に選手たちはすごいことを成し遂げてくれた」（今井竜司学生コーチ・国際4＝豊川）。誰一人欠けてはならない、紛れもなく"全員"で戦い抜いた春。「サポートしてくれた人や応援してくれた人、全員のおかげで優勝できた」（北本）。喜びと同時に感謝があふれた。

就活生から選手へ　愛を込めて10おにぎりを

【写真】ベンチ外の部員たちも、スタンドから声援を送った

春秋連覇＆神宮大会Vで大学史上6度目の大偉業へ

四冠

次なる目標は春秋連覇、そして秋の神宮大会制覇。大学野球史上5回しか達成されていない"四冠"だ。秋は王者としてのプレッシャーがのしかかる。「チームが一つとなって日本一を」（森下）。春に築いたチーム力を武器に、いまだ成し得ていない新たな歴史を刻み込む。

【坂田和徳】

優勝の瞬間、マウンド上の森下の元に駆け寄る明大ナイン（撮影者：坂田和徳）【切り込み㊤】閉会式で優勝旗を受け取る森下

善波達也監督　優勝インタビュー

全日本大学選手権の優勝は38年ぶりの快挙だ。前回優勝時は現阪神タイガース2軍監督の平田勝男氏（昭57法卒）が主将を務め、8－2で近大を下し優勝した。以下は善波監督の優勝インタビュー。

――胴上げの瞬間の気分は。

38年の歴史がやっとつながったなと。うれしく思います。

――決勝を振り返って。

プレッシャーはかかっていましたが、森下を中心に崩れなかったというところが勝ちにつながったと思います。一球一球魂を込めて投げてくれました。

――38年ぶりの優勝は、ご自身の大学1年次以来。

そうですね。私はスタンドで応援をしていました。我々も先輩方の後に続こうと思ってやってきました。

――今年はどんなチームか。

4年生が森下、北本を中心に、あとは就活をしている選手たちが一生懸命手伝ってくれて、よくまとまったいいチームになったと思います。（スタンドへ向かって）ありがとう！

「38年の歴史がやっとつながった」

率.538 副将 北本「応援してくださった方々への恩返し」

データベース

◎個人賞総なめ　18回で1失点の森下が最高殊勲選手賞と最優秀投手賞の2冠。北本は13打数7安打の打率5割3分8厘で首位打者賞を獲得した。明大からの首位打者は糸原健斗選手（平27営卒・現阪神タイガース）以来6年ぶり。

◎勝率100％　明大は過去6度、全日本大学選手権の決勝に進み、その全てで勝利を挙げている。

◎六大学の意地　東京六大学連盟の代表が優勝するのは26回目で全連盟中最多。六大学内の優勝回数では法大の8回が最多で明大6回、早大5回、立大4回、慶大3回と続く。

今大会の歩み

▼2回戦　福井工大
北本が本塁打含む4打点を挙げ、幸先の良いスタートを切った。

▼3回戦　東洋大
森下が9回108球で東洋大打線を完封。相手先発・村上とのエース対決を制した。

味方に拍手を送る森下

▼準決勝　東農大オホーツク
3回から登板の伊勢が被安打1に抑える圧巻の投球。優勝に王手をかけた。

▼決勝　佛教大
森下が10奪三振完投。リーグ優勝に続き、再び神宮のマウンドに歓喜の輪が広がった。

胴上げされる森下

ホイッスル

幼い頃、ディズニープリンセスが大好きだった。特に、水泳教室に通う以前、カナヅチだった3歳の私にとって、幻想的な海の中を自由に泳ぎ回り、愉快な仲間たちと楽しそうに日々を過ごすお姫様、『リトル・マーメイド』のアリエルは憧れの的だった。両親に何度も夢の国に連れて行ってもらったり、頻繁にDVDを観ていたのを覚えている◆かなり忘れっぽい私だが、大学受験生活は記憶に新しい。中高一貫校で悠々自適に6年間を過ごした。特に高校1年次から3年次の夏あたりまで、留学や部活と自分のやりたいことだけにささげる日々。そのツケが回ってきたのか、国語と日本史の偏差値はあまりに壊滅的。"マルを数えた方が早かったと思う。それでも理想を高く持ちがちな私の行きたい大学はただ一つだけだった◆迎えた追い込みの夏休み。毎日毎日勉強ばかりで憂鬱（ゆううつ）でしかない。結果もなかなか出ず、両親も「そんなに高望みしなくていいんだよ」と一言。だんだんやる気も失せてきた◆なんとなく息抜きで『リトル・マーメイド』を見返した。肩を落とす私をよそに、相も変わらず大好きだった平和できれいな世界が広がっていた。でも、新たな発見もあった。人魚の身でありながらも、人間の王子様にいちずに恋をする主人公。彼女は物語の中でこう放った。『世界が「諦めなさい」と言うとき、希望が「もう一度チャレンジして」ってささやく』◆周りに何を言われても、関係ない。やると決めたことは自分を信じてやり遂げる。お姫様の言葉で、つらかった受験も乗り越えられた。どんなときも、自分の中の"希望"が支えてくれる。だから、これからも自分なりに進んでいこう。人魚姫にはないこの足で、一歩ずつ一歩ずつ

年間購読のお申し込みは080-4083-5789

読み終えた新聞はお持ち帰りください

レイアウト　桐山雄希

我々におまかせください！
合宿をプロデュースする毎日コムネットです
毎日コムネット
観光庁長官登録旅行業　第1629号
〒163-1505 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー5F
学生旅行営業課 新宿旅行センター　担当野崎
E-mail:kouhei_nozaki@maicom.co.jp
お問合せはお気軽に！ TEL03-5322-0489

表紙は明治大学ラグビー部
アスリート・ビジョン
最新号
7月10日無料配布開始
定期購読のお申し込み（無料）
キャンペーンへの応募はこちら▶

その一球で
勝利を掴め

ISONO
株式会社イソノ運動具店
〒101-0025　東京都千代田区神田佐久間町4-6
TEL.03(3864)6601（代表）　FAX.03(3864)6380
URL　http://www.bb-isono.co.jp
E-mail　isono@bb-isono.co.jp

2019
東京六大学野球
春季リーグ戦

優勝
おめでとうございます

第68回
全日本大学野球
選手権大会

Wagyu JB Glove&Mitt 12model
JB Bat 20model
Professional product

Ballpark.com inc.
有限会社ボールパークドットコム
TEL:0985-83-3186
〒880-0841 宮崎県宮崎市吉村町下鶴4353-5
■営業時間／10:00～20:00　■定休日／水曜日
www.Japan-Ballpark.com
ボールパークドットコム　検索